

元気いっぱい 笑顔いっぱい

あしろうキッズ



ゆたか保育園 たいようぐみ (5歳児クラス)

キラキラ笑顔と元気があふれるたいよう組さん。  
運動会や発表会などいろんなことに挑戦しながら、笑ったり泣いたり、様々な経験をし、楽しんでいきたいです！  
残りの保育園生活もみんなのパワーと優しさがあふれますように・・・。  
たいよう組担任 多喜 千紘 佐藤 静香 飯島 ゆかり



愛知川保育園 ほしぐみ (4歳児クラス)

ケンカもするけれど、お友だちと遊ぶことが大好きで、協力して作ったり、それぞれが作ったものを合体させたりして楽しみ、毎日賑やかなほし組さんです。  
プール遊びでは、水がどんどん深くなっていくにつれて喜び、ぐるぐる洗濯機やスーパーボール集めなど、何をするにも盛り上がっています。  
暑い夏も体調に気を付けながら、元気いっぱい過ごしていこうね。  
ほし組担任 西澤 理彩 黒住 絵梨

わたしのギャラリー

 秦荘東小学校6年 北川 陽葵さん じょうろとベゴニアを美しく描きました。線を重ねたり、濃淡をつけたりして立体感が出るように工夫しました。特にお花の部分を見てほしいです。		 秦荘東小学校6年 安田 樹人さん 6年B組での思い出を残していきたくて絵にしました。一本一本線をよく見ながら描いていくことを意識しました。楽しい学校生活にしていきたいです。			
 愛知川東小学校4年 村西 柔斗さん くちばしをかくときに色のバランスを考えるのががんばりました。いろいろな色を作って、きれいな色を選んで羽のもようをかきました。		 愛知川東小学校4年 藤崎 優芽さん 絵の具の色をたくさん使って羽がカラフルになるように工夫しました。また、羽の形や、はり方も工夫して、クジャクがにっこり笑っているのがポイントです。		 愛知川東小学校4年 増田 佳穂さん 筆をふって絵の具を落としてもようを作りました。1まい1まいの羽をていねいに切ってはるのが楽しかったです。たくさんはってクジャクができました。	

男 女 共 同 参 画 一できることから始めよう!! 男女に築く 愛のまち

リボンにメッセージを込めてシンボルマークとする「リボン運動」。

このリボンは、正式にはアウェアネス・リボンともいわれ、リボンを身に着けることは、社会問題や難病などへの支援を表明し、多くの人に関心を持ってもらうきっかけとなっています。  
また、アウェアネスは、「認識・気づき」という意味で、アウェアネス・リボンは、「気づきのリボン」と訳されます。同じ色でも意味が全く異なるものもあり、身の回りで様々な色のリボンを目にするようになりました。  
色のついたリボンは知っているけれども、どんな意味があるのか、案外よく知らないという人も多いのではないのでしょうか。そこで、今回は女性や人権に関連するリボンについて簡単にご紹介します。

- ピンクリボンとは**  
ピンクリボンは、乳がん検診の早期受診や治療の推進を目的としたシンボルマークです。日本は乳がん患者と診断された人の割合も高く、乳がん患者を理解・支援するためとともに、乳がんの早期発見と適切な治療を受けることの大切さを知ってもらうことを目指しています。
- イエローリボンとは**  
イエローリボンは、「違いを尊重し、すべての人が参加できる社会へ」をモットーに、障がいのあるなしに関わらず、ともに暮らし支えあっている社会をつくることを目指しています。
- レッドリボンとは**  
レッドリボンは、エイズ患者を差別せず、エイズに対する理解と支援をする意思を表すシンボルマークです。エイズで命を落とした人たちの追悼から、レッドリボンをシンボルとする世界的な運動も定着しています。
- パープルリボンとは**  
パープルリボンは、配偶者からの性犯罪、性暴力、ストーカー行為等、女性への暴力の根絶を訴え広く呼びかけるとともに、被害者に対して、ひとりで悩まないで相談してほしいというメッセージが込められています。
- オレンジリボンとは**  
オレンジリボンは、子ども虐待防止のシンボルマークです。子ども虐待の問題に関心を持ち、住民のネットワークにより、虐待のない社会を築くことを目指しています。

このような様々なリボンを通して、人々の思いや実現したい社会を知りましょう。



☎ みらい創生課 (愛知川庁舎) ☎ 0749 - 29 - 9046